

クリスマス&お正月 wダブルwで楽しもう！！

- 1 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深める。保護者には子育てについて考える場を提供するとともに、ゆるやかなネットワークの構築を図る。
- 2 日 時：平成28年12月 17日（土） 13：00
～18日（日） 12：00
- 3 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 4 対 象：子どもとその保護者 15組、50名程度
- 5 参加者：37家族103名（保護者45名、子ども58名）

6 プログラムの内容：

1日目

13：30～開会・スタッフ紹介・オリエンテーション～

参加者103人、家族数37組とこれまでおこなってきた親子ちゃれんじの中では、最多家族数となった。リピーターのご家族も19家族あり、互いに「お久しぶりですね」などの、挨拶する姿が見られた。今年最後の事業ということで参加して下さった方々も多くあり、2日間のイベントを楽しみにしている様子が伝わってきた。

～アイスブレイク～

スタッフの紹介を終え、各班に分かれ参加者同士の自己紹介をおこなった。「名前・どこからきたの・家族ではまっていること」など、家族ごとに画用紙に書いて発表し合った。また、クリスマスプレゼントとして欲しいものを1人1枚書いた。子供たちはすらすらと、保護者の方々は悩みながら、童心に戻りとおきのクリスマスプレゼントを書いていた。

交流の家の職員・ボランティアスタッフ、皆の願いが書かれた手作りのクリスマスツリー壁画が完成した。

14：30～クリスマスリースづくり～



交流の家の敷地内の自然物を使って、家族でオリジナルリースづくりをおこなった。壁にかけるタイプ・置き物タイプなど、様々な形のリースができあがった。また、松ぼっくりを使ってのミニツリーや夜のクリスマス演奏会で楽器として使うペットボトルマラカスも作った。

ものづくりに関しては、子ども達だけでなく保護者の方々も真剣に楽しんでいる姿が見られた。

18：30～クリスマス演奏会～

志知ママアンサンブルの方々による演奏会では、手作りのペットボトルを使って参加者全員で「おもちゃのチャチャチャ」を歌った。「チャ」と歌うところだけ、ペットボトルマラカスを振ったりたたいたりして、歌に合わせて音を出した。子供たちもよく知っている歌という事もあり、大きな音が合わさり会場が一体となった。普段見慣れない楽器やグランドピアノ演奏も聴け楽しいクリスマス演奏会となった。



2日目

9:20~書道プログラム・パフォーマンス①~

四国大学書道学科の『かぜまーる』として活動している学生5人によるパフォーマンスから2日目のプログラムが始まった。

音楽の流れる中、大きな筆を使って2つの作品が描かれた。「何を書くんだろう?」と参加者は大きな半紙に注目していた。描かれていく文字や絵を見つめる子供たちの姿に日本の文化の良さを見ることが出来た。



~大筆体験・巨大アート作品づくり・昔遊び~

班ごとに分かれ、30分ずつ体育館や講堂など3つの体験ブースを回った。

大筆体験では、自分の背丈ほどある筆を使って、100cm×100cmの半紙に思い思いの文字を書いた。2017年の干支の「とり」と書く子、昔遊びで楽しかった「おてだま」と半紙をつなげて書く子、とさまざまな文字が書かれた。

昔遊びでは、今ではあまりお正月に遊ぶことの少ない、はごいたが人気だった。福笑い・おてだま・だるまおとし・こままわしなど、昔ながらのお正月遊びを親子で楽しむことが出来た。

~巨大アート作品づくり・パフォーマンス②~

各班3つのブースを回った後は、講堂に再び集まり『かぜまーる』の学生とともにパフォーマンス①の作品よりもっと大きな半紙に巨大アート用の作品を貼り付けていった。カラーの画用紙に描かれた文字や絵には参加者それぞれの新しい年へのおもいが描かれていた。

『かぜまーる』の筆入れにより巨大アート作品が完成した。賀正と描かれた作品が出来上がると一気にお正月の雰囲気包まれた。



7 参加者の声

○楽しくイベント参加出来た、また参加したい。
○リースづくりやものづくりが楽しかった。
○前回知り合った方とまた出会えた。

○ペットボトルを使ってのマラカスの演奏が楽しかった。
○普段できない体験が出来た。
○子供の成長、今後の課題も感じられた。

8 所感

年の瀬にもかかわらず、多くの参加があり、交流の家での親子ちゃれんじのイベントを心待ちにされている様子がかがえた。1日目はクリスマス・2日目はお正月という事で、プログラムの内容も多種多様で、ボランティア・講師の方々と一体感を感じる淡路らしいアットホームな親子ちゃれんじの事業となった。リピーターのご家族も回を重ねるごとに増えていきイベントに初めて参加する方に対して、困った様子を見かけたら声かけもしていただき、リピーターの方の温かさも感じた。1日目のリース作りの際には、出来上がった作品を通して会話するなど家族間交流も図れた。

